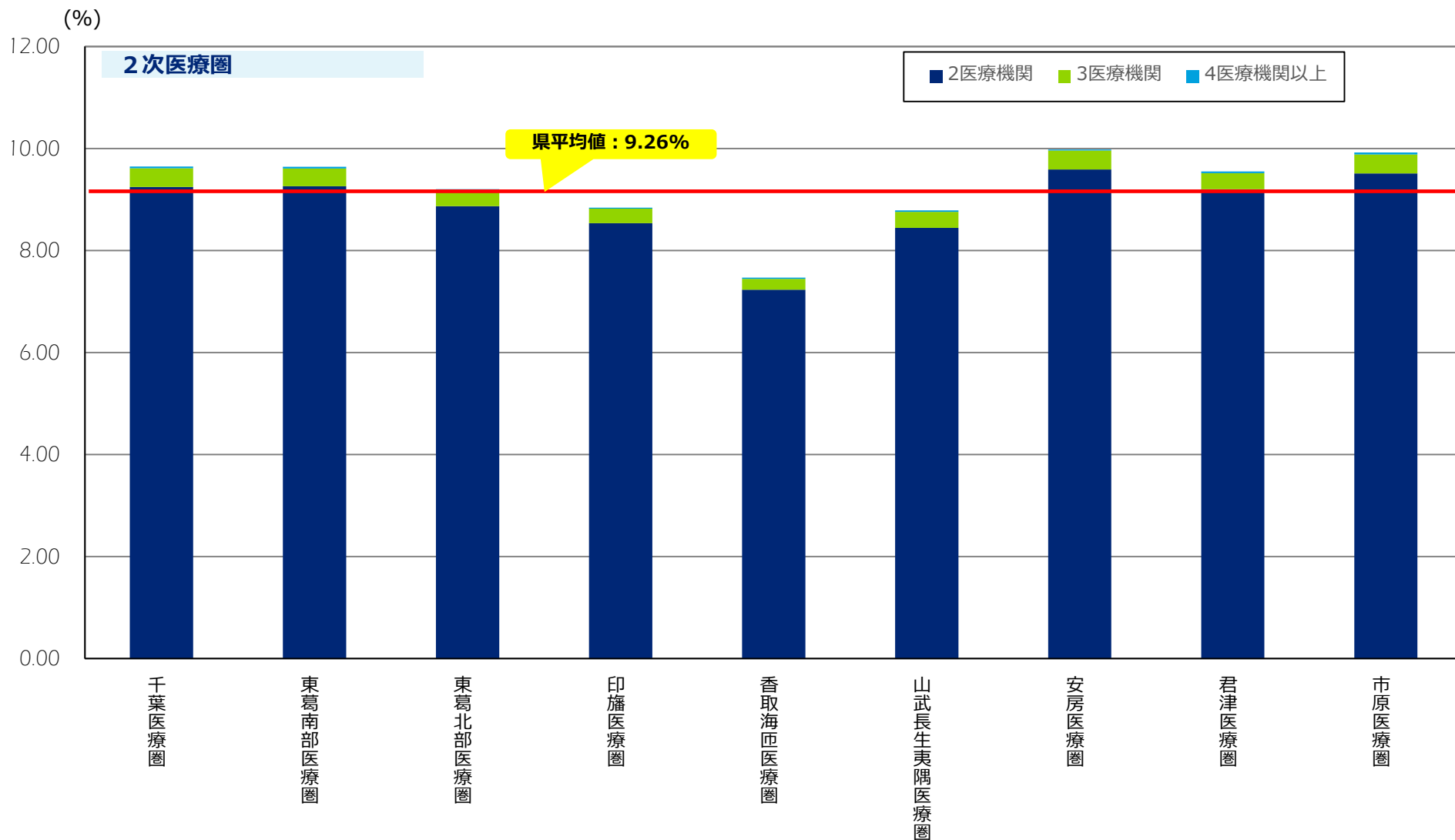


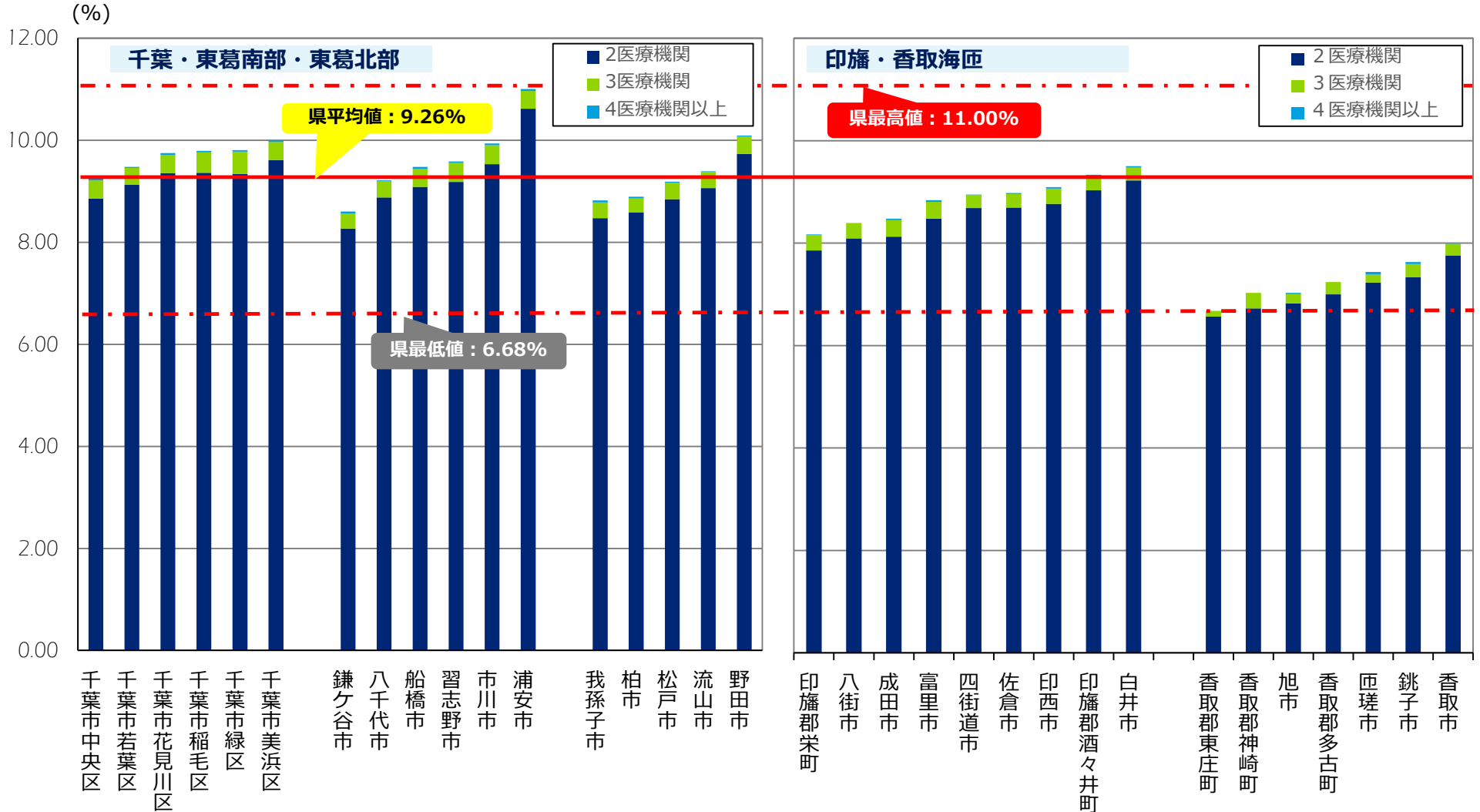
5-1. 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（国保） 2次医療圏

- 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（国保）について、2次医療圏別に見ると、安房医療圏と市原医療圏が高く、香取海匝医療圏が最も低い。また、処方された医療機関数は2医療機関が大半となっている。



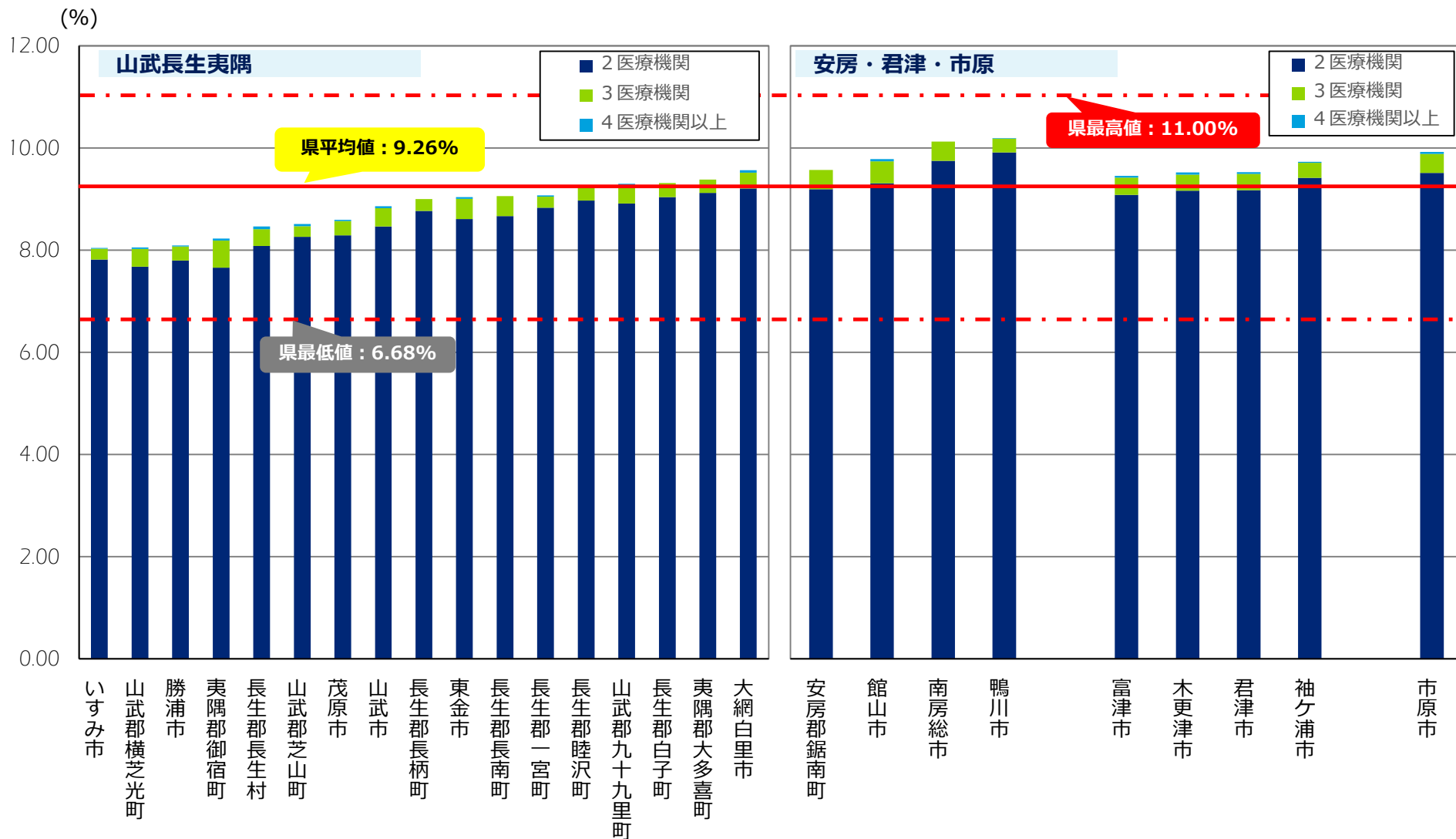
5-1. 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（国保） 千葉・東葛南部・東葛北部／印旛・香取海匝

- 千葉・東葛南部・東葛北部では我孫子市が大幅に高くなっている。
- 香取海匝は全体的に割合が低くなっており、香取郡東庄町は千葉県内の最低値となっている。



5-1. 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者数割合（国保） 山武長生夷隅／安房・君津・市原

- 山武長生夷隅では大網白里市が最も高く、いすみ市が最も低くなっている。
- 安房・君津・市原はすべての市町村において千葉県平均を上回っている。



5-2. 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者における疾病中分類ランキング

(国保) (2次医療圏別)

- 2医療機関より同成分の薬剤を処方された患者における疾病分類別医療費は、どの医療圏でも「慢性腎臓病」が上位にきている。次に、「気管支及び肺の悪性新生物」が上位に多い。狭心症は医療圏によって多少順位にばらつきがみられる。

2 医療機関における、疾病中分類別医療費ランキング上位10位

(円)

	千葉医療圏	東葛南部医療圏	東葛北部医療圏	印旛医療圏	香取海匠医療圏	山武長生夷隅医療圏	安房医療圏	君津医療圏	市原医療圏
1	慢性腎臓病 1,354,165,562	慢性腎臓病 2,471,568,456	慢性腎臓病 2,078,961,908	慢性腎臓病 1,067,047,083	慢性腎臓病 324,948,260	慢性腎臓病 965,877,592	気管支及び肺の悪性新生物 274,767,619	慢性腎臓病 524,141,052	慢性腎臓病 690,938,272
2	詳細不明の腎不全 443,390,378	気管支及び肺の悪性新生物 944,360,909	狭心症 796,405,436	詳細不明の腎不全 464,752,082	詳細不明の腎不全 189,881,879	気管支及び肺の悪性新生物 380,242,580	慢性腎臓病 205,485,766	気管支及び肺の悪性新生物 232,020,600	気管支及び肺の悪性新生物 175,870,782
3	気管支及び肺の悪性新生物 438,851,546	狭心症 693,140,521	気管支及び肺の悪性新生物 681,334,329	狭心症 305,202,699	脳梗塞 175,597,367	詳細不明の腎不全 258,018,740	心房細動及び粗動 130,355,636	狭心症 151,877,390	脳梗塞 118,901,570
4	狭心症 386,112,597	心房細動及び粗動 485,046,166	詳細不明の腎不全 642,773,779	気管支及び肺の悪性新生物 282,747,108	気管支及び肺の悪性新生物 147,791,412	脳梗塞 226,132,431	狭心症 88,367,506	心房細動及び粗動 146,041,761	狭心症 110,012,551
5	脳梗塞 323,396,500	脳梗塞 484,743,987	脳梗塞 472,015,702	脳梗塞 267,334,028	心房細動及び粗動 130,931,326	結腸の悪性新生物 200,843,050	統合失調症 77,606,729	詳細不明の腎不全 133,196,582	結腸の悪性新生物 92,955,802
6	心房細動及び粗動 245,765,092	詳細不明の腎不全 428,216,792	心房細動及び粗動 419,890,761	心房細動及び粗動 199,065,117	狭心症 88,147,517	心房細動及び粗動 198,458,838	脳梗塞 65,502,057	脳梗塞 116,444,682	膝関節症 [膝の関節症] 89,694,612
7	結腸の悪性新生物 240,359,408	乳房の悪性新生物 388,434,393	胃の悪性新生物 363,716,652	乳房の悪性新生物 191,018,940	膝関節症 [膝の関節症] 81,797,830	大動脈瘤及び解離 155,010,428	結腸の悪性新生物 62,907,172	その他の関節リウマチ 83,607,826	心房細動及び粗動 84,739,004
8	膝関節症 [膝の関節症] 233,304,090	結腸の悪性新生物 376,839,781	大動脈瘤及び解離 361,626,512	心不全 174,910,981	結腸の悪性新生物 76,265,906	狭心症 147,622,457	乳房の悪性新生物 62,617,452	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 81,937,676	胃の悪性新生物 82,719,832
9	心不全 201,791,704	脳の損傷及び機能不全並びに身体疾患によるその他の精神障害 345,716,323	心不全 344,068,006	結腸の悪性新生物 161,094,074	骨髄性白血病 70,671,420	乳房の悪性新生物 142,621,556	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物 59,341,692	2型糖尿病 81,351,702	大動脈瘤及び解離 80,005,408
10	本態性(原発性)高血圧(症) 182,760,810	心不全 341,121,708	結腸の悪性新生物 329,726,169	その他の脊椎障害 157,793,807	本態性(原発性)高血圧(症) 70,379,660	膝関節症 [膝の関節症] 141,382,634	直腸の悪性新生物 58,898,167	紫斑病及びその他の出血性病態 80,068,698	詳細不明の腎不全 73,901,030

※同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者の全レセプトにおける主傷病を集計

※千葉県全体の疾病中分類別医療費上位3を色付け

※赤色のデータバーは各医療圏の1位を100とした場合の比率を作成

5-2. 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者における疾病中分類ランキング (国保) (2次医療圏別)

- 3医療機関より同成分の薬剤を処方された患者における疾病分類別医療費は、安房医療圏以外で「慢性腎臓病」が上位にきている。次に、「詳細不明の腎不全」の医療費が多く、狭心症は医療圏によって順位のばらつきがみられる。

3 医療機関における、疾病中分類別医療費ランキング上位10位

(円)

	千葉医療圏	東葛南部医療圏	東葛北部医療圏	印旛医療圏	香取海浜医療圏	山武長生夷隅医療圏	安房医療圏	君津医療圏	市原医療圏
1	慢性腎臓病 97,831,931	慢性腎臓病 159,174,754	慢性腎臓病 104,750,529	慢性腎臓病 64,573,812	慢性腎臓病 21,494,292	慢性腎臓病 46,082,691	気管支及び肺の悪性 新生物 36,003,096	慢性腎臓病 52,814,010	慢性腎臓病 82,237,158
2	狭心症 46,796,097	詳細不明の腎不全 30,714,104	詳細不明の腎不全 41,113,628	詳細不明の腎不全 43,622,184	固形物及び液状物に よる肺臓炎 10,494,358	詳細不明の腎不全 17,058,474	狭心症 19,445,216	大動脈瘤及び解離 10,764,736	多発性骨髄腫及び悪 性形質細胞性新生 物 14,592,970
3	慢性虚血性心疾患 31,678,392	狭心症 25,845,525	狭心症 35,851,570	心房細動及び粗動 18,150,370	詳細不明の腎不全 9,876,758	発作性頻拍 (症) 15,162,860	心房細動及び粗動 16,966,672	喘息 10,173,818	その他の炎症性脊椎 障害 9,713,432
4	詳細不明の腎不全 17,233,484	心房細動及び粗動 21,218,002	紫斑病及びその他の 出血性病態 20,221,342	膝関節症 [膝の関節 症] 12,140,668	非ろ胞性リンパ腫 8,058,910	胃の悪性新生物 8,902,812	慢性腎臓病 16,949,499	その他の脳血管疾患 10,049,190	詳細不明の腎不全 8,486,846
5	気管支及び肺の悪性 新生物 15,411,490	大動脈瘤及び解離 20,490,230	脳梗塞 18,883,140	喘息 11,927,348	リウマチ性三尖弁疾患 6,682,775	心不全 8,560,174	脾の悪性新生物 13,407,072	呼吸器及び消化器の 続発性悪性新生物 8,753,158	その他の筋障害 7,181,579
6	脳の損傷及び機能不 全並びに身体疾患に よるその他の精神障害 15,255,580	2型糖尿病 19,448,518	その他の筋障害 18,501,902	リウマチ性僧帽弁疾患 11,688,268	その他の筋障害 5,427,180	気管支及び肺の悪性 新生物 8,357,774	詳細不明の腎不全 10,842,280	リンパ性白血病 8,099,710	肋骨、胸骨及び胸椎 骨折 6,492,450
7	脳梗塞 15,074,484	非ろ胞性リンパ腫 18,531,958	その他の部位及び部 位不明の続発性悪性 新生物 17,708,772	狭心症 10,637,449	大動脈瘤及び解離 5,085,100	2型糖尿病 8,345,148	肺炎, 病原体不詳 8,207,005	心房細動及び粗動 7,861,216	乳房の悪性新生物 5,787,710
8	大動脈瘤及び解離 14,526,242	喘息 17,965,830	気管支及び肺の悪性 新生物 17,706,058	非ろ胞性リンパ腫 8,182,054	急性腎不全 4,536,617	胆道のその他の疾患 7,132,544	クローン病 [限局性 腸炎] 7,658,512	食道の悪性新生物 7,714,828	狭心症 5,452,424
9	脾の悪性新生物 13,604,020	脾の悪性新生物 16,656,483	心不全 16,424,606	てんかん 7,791,470	下垂体機能低下症 及びその他の下垂体 障害 4,145,100	胆石症 6,596,298	その他の部位及び部 位不明の続発性悪性 新生物 7,479,945	肺塞栓症 7,684,782	非リウマチ性大動脈弁 障害 5,369,774
10	その他の脊椎障害 9,420,790	股関節症 [股関節 部の関節症] 15,926,554	統合失調症 15,170,735	肩及び上腕の骨折 7,071,018	喘息 3,361,392	急性心筋梗塞 6,407,396	パーキンソン病 6,555,320	前立腺の悪性新生物 7,169,620	脳梗塞 4,647,966

※同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者の全レセプトにおける主傷病を集計

※千葉県全体の疾病中分類別医療費上位3を色付け

※赤色のデータバーは各医療圏の1位を100とした場合の比率を作成

5-3. 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者における薬効分類ランキング (国保) (2次医療圏別)

- 2医療機関より同成分の薬剤を処方された患者における薬効分類別薬剤費は、どの医療圏でも傾向は似ており、「血液代用剤」、「その他の腫瘍薬」、「他に分類されない代謝性医薬品」が上位にきている。

2 医療機関における、薬効分類別薬剤費ランキング上位10位

(円)

	千葉医療圏	東葛南部医療圏	東葛北部医療圏	印旛医療圏	香取海浜医療圏	山武長生夷隅医療圏	安房医療圏	君津医療圏	市原医療圏
1	血液代用剤 532,189,274	その他の腫瘍薬 809,148,611	血液代用剤 821,109,609	その他の腫瘍薬 322,198,445	血液代用剤 148,473,282	血液代用剤 289,273,302	血液代用剤 172,356,217	血液代用剤 201,898,769	その他の腫瘍薬 160,119,505
2	その他の腫瘍薬 524,350,742	血液代用剤 625,946,080	その他の腫瘍薬 597,235,983	血液代用剤 318,934,492	その他の腫瘍薬 107,609,000	その他の腫瘍薬 244,004,844	その他の腫瘍薬 87,084,852	他に分類されない代謝性医薬品 142,392,427	血液代用剤 103,470,232
3	他に分類されない代謝性医薬品 293,208,817	他に分類されない代謝性医薬品 447,078,366	他に分類されない代謝性医薬品 374,232,381	他に分類されない代謝性医薬品 209,391,202	他に分類されない代謝性医薬品 85,531,919	他に分類されない代謝性医薬品 182,573,791	他に分類されない代謝性医薬品 75,267,905	その他の腫瘍薬 134,828,394	他に分類されない代謝性医薬品 98,414,388
4	血液製剤類 212,616,620	血液凝固阻抑制剤 224,556,408	血液製剤類 288,136,180	血液凝固阻抑制剤 105,471,401	抗ウイルス剤 50,980,373	消化性潰瘍用剤 82,164,837	血液凝固阻抑制剤 42,292,991	抗ウイルス剤 64,777,185	血液凝固阻抑制剤 54,231,463
5	精神神経用剤 144,041,663	精神神経用剤 223,880,526	血液凝固阻抑制剤 220,988,848	精神神経用剤 104,049,475	消化性潰瘍用剤 47,568,586	血液製剤類 78,680,600	精神神経用剤 27,211,860	消化性潰瘍用剤 59,858,749	精神神経用剤 44,165,543
6	眼科用剤 123,547,803	血液製剤類 222,877,340	精神神経用剤 183,614,281	消化性潰瘍用剤 97,755,489	糖尿病用剤 41,663,053	糖尿病用剤 77,021,600	消化性潰瘍用剤 26,075,853	糖尿病用剤 57,442,748	糖尿病用剤 43,949,977
7	抗ウイルス剤 119,408,283	糖尿病用剤 189,308,725	消化性潰瘍用剤 178,248,954	糖尿病用剤 97,387,558	精神神経用剤 35,570,361	抗ウイルス剤 76,621,105	糖尿病用剤 24,585,220	血液凝固阻抑制剤 52,758,782	消化性潰瘍用剤 43,824,887
8	消化性潰瘍用剤 118,464,331	消化性潰瘍用剤 187,405,627	糖尿病用剤 162,294,348	抗ウイルス剤 84,533,578	血液製剤類 33,505,490	血液凝固阻抑制剤 72,408,191	血圧降下剤 22,365,795	精神神経用剤 49,014,060	血液製剤類 42,291,530
9	血液凝固阻抑制剤 115,367,555	眼科用剤 183,417,137	抗ウイルス剤 146,614,101	眼科用剤 81,044,137	血液凝固阻抑制剤 32,259,513	血圧降下剤 70,220,796	その他の中枢神経系用薬 21,924,669	血液製剤類 45,596,300	血圧降下剤 35,509,133
10	糖尿病用剤 111,091,185	その他の中枢神経系用薬 168,081,037	眼科用剤 136,295,898	血圧降下剤 80,018,573	血圧降下剤 30,844,648	精神神経用剤 69,222,861	高脂血症用剤 21,249,639	その他の循環器官用薬 42,538,255	眼科用剤 35,439,524

※同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者の全レセプトにおける医薬品を集計

※千葉県全体の薬効分類別薬剤費上位3を色付け

※赤色のデータバーは各医療圏の1位を100とした場合の比率を作成

5-3. 同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者における薬効分類ランキング

(国保) (2次医療圏別)

- 3医療機関より同成分の薬剤を処方された患者における薬効分類別薬剤費は、医療圏によってばらつきがみられ、「精神神経用剤」は上位3以内ではないものの、全医療圏で上位10位以内に入っている。

3医療機関における、薬効分類別薬剤費ランキング上位10位

(円)

	千葉医療圏	東葛南部医療圏	東葛北部医療圏	印旛医療圏	香取海浜医療圏	山武長生夷隅医療圏	安房医療圏	君津医療圏	市原医療圏
1	血液代用剤 9,477,708	その他の腫瘍用薬 19,763,949	その他の腫瘍用薬 25,677,286	その他の腫瘍用薬 8,326,328	脳下垂体ホルモン剤 3,358,200	その他の腫瘍用薬 10,108,766	血液代用剤 7,799,422	血液代用剤 7,794,171	その他の腫瘍用薬 11,064,020
2	他に分類されない代 謝性医薬品 9,398,008	他に分類されない代 謝性医薬品 17,055,116	他に分類されない代 謝性医薬品 19,152,624	その他の循環器官用 薬 6,635,096	血液代用剤 2,975,820	精神神経用剤 4,713,181	その他の腫瘍用薬 6,651,565	抗ウイルス剤 5,032,734	血液代用剤 7,957,854
3	抗ウイルス剤 9,165,395	血液代用剤 15,912,878	血液代用剤 14,032,408	精神神経用剤 6,338,962	精神神経用剤 2,743,941	他に分類されない代 謝性医薬品 4,646,067	抗パーキンソン剤 3,812,086	その他の呼吸器官用 薬 3,163,093	他に分類されない代 謝性医薬品 7,866,929
4	精神神経用剤 8,444,742	抗ウイルス剤 15,526,901	血液製剤類 11,750,580	他に分類されない代 謝性医薬品 5,560,223	他に分類されない代 謝性医薬品 2,319,346	血液凝固阻止剤 3,317,851	他に分類されない代 謝性医薬品 2,811,833	その他の腫瘍用薬 2,903,248	精神神経用剤 3,314,542
5	その他の腫瘍用薬 8,178,114	精神神経用剤 11,572,375	精神神経用剤 11,212,675	血液凝固阻止剤 4,756,461	血液製剤類 1,567,780	消化性潰瘍用剤 3,043,908	血液凝固阻止剤 2,807,590	精神神経用剤 2,652,465	血液製剤類 2,179,390
6	血液製剤類 7,907,020	その他の中枢神経系 用薬 10,984,050	血液凝固阻止剤 9,204,570	その他の呼吸器官用 薬 4,503,650	消化性潰瘍用剤 1,294,726	その他の中枢神経系 用薬 2,608,899	精神神経用剤 1,586,948	他に分類されない代 謝性医薬品 2,578,597	その他の中枢神経系 用薬 1,913,981
7	代謝拮抗剤 6,929,582	消化性潰瘍用剤 8,182,327	抗ウイルス剤 8,933,646	抗ウイルス剤 4,040,678	その他の循環器官用 薬 1,220,995	血液代用剤 2,352,744	血液製剤類 1,495,140	消化性潰瘍用剤 2,176,324	消化性潰瘍用剤 1,894,875
8	消化性潰瘍用剤 5,955,232	血液製剤類 7,918,560	消化性潰瘍用剤 6,592,100	消化性潰瘍用剤 3,678,726	血液凝固阻止剤 828,915	糖尿病用剤 2,317,761	消化性潰瘍用剤 1,394,880	血液製剤類 1,954,310	その他の循環器官用 薬 1,526,345
9	その他の中枢神経系 用薬 4,755,320	血液凝固阻止剤 7,716,577	その他のアレルギー用 薬 5,058,390	その他の中枢神経系 用薬 3,505,094	その他のアレルギー用 薬 817,184	その他のアレルギー用 薬 2,113,370	血圧降下剤 1,259,894	その他のホルモン剤 (抗ホルモン剤を含 む) 1,947,386	その他のアレルギー用 薬 1,427,113
10	その他のアレルギー用 薬 4,046,640	眼科用剤 7,008,324	その他の中枢神経系 用薬 4,800,202	その他のアレルギー用 薬 2,925,865	鎮痛、鎮痒、収 斂、消炎剤 815,554	血圧降下剤 2,062,176	糖尿病用剤 1,162,755	血液凝固阻止剤 1,816,440	眼科用剤 1,293,840

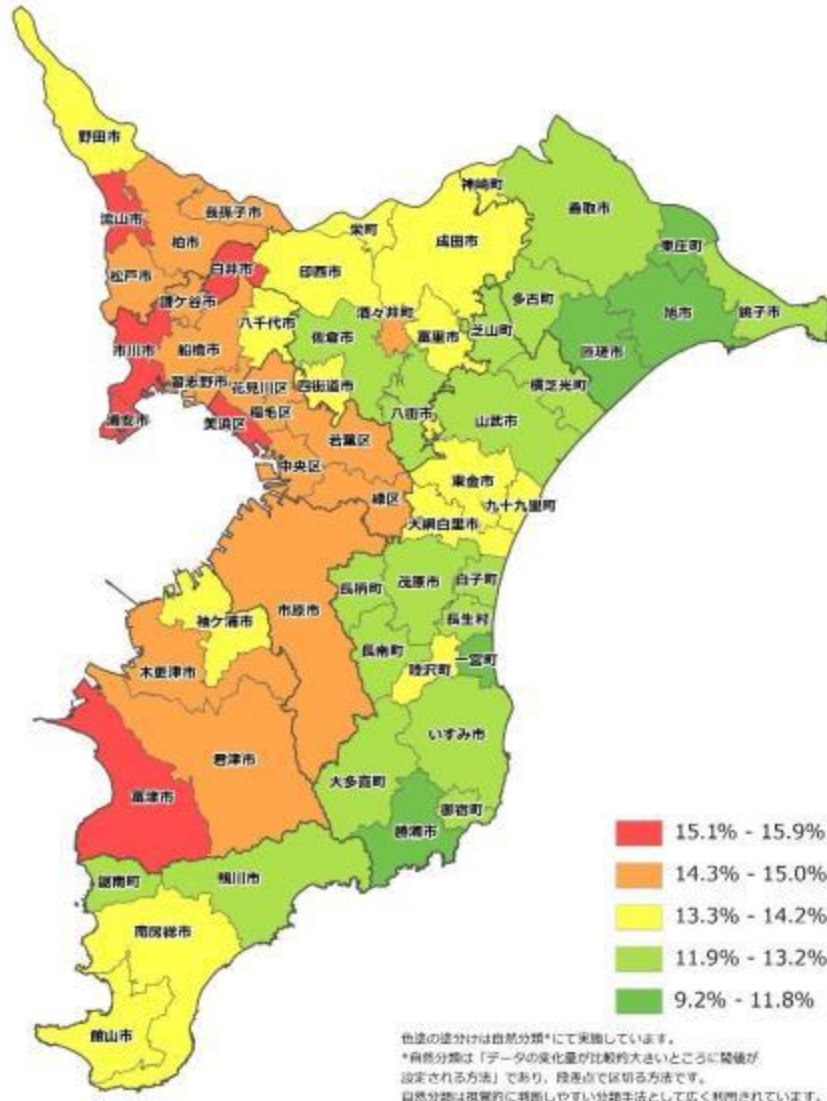
※同一月内に同成分の薬剤を複数医療機関から処方された患者の全レセプトにおける医薬品を集計

※千葉県全体の薬効分類別薬剤費上位3を色付け

※赤色のデータバーは各医療圏の1位を100とした場合の比率を作成

5-4. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（国保）

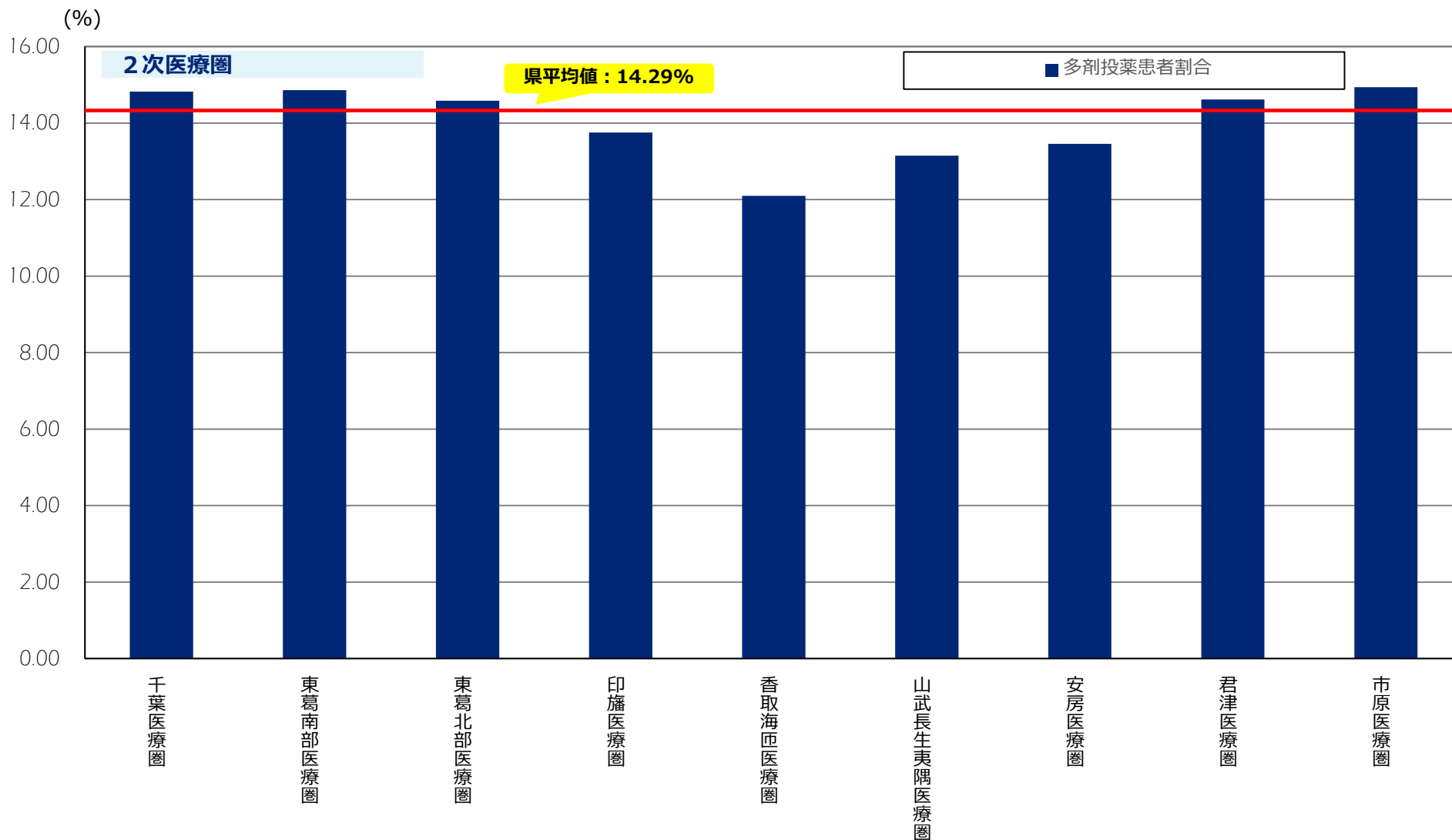
- 市町村別同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（国保）の千葉県平均値は14.29%となっている。
- 患者数割合を地域別にみると、県北西から西側に高い値を示す地域が多い傾向が見られる。



市区町村	多剤投薬患者数割合 (%)	市区町村	多剤投薬患者数割合 (%)
市川市	15.88%	館山市	13.78%
流山市	15.88%	袖ヶ浦市	13.70%
富津市	15.85%	四街道市	13.66%
浦安市	15.72%	印旛郡栄町	13.60%
白井市	15.50%	南房総市	13.55%
千葉市美浜区	15.32%	長生郡睦沢町	13.54%
千葉市緑区	15.01%	長生郡白子町	13.17%
市原市	14.94%	茂原市	13.16%
千葉市中央区	14.91%	佐倉市	13.12%
鎌ヶ谷市	14.72%	山武市	13.11%
習志野市	14.69%	山武郡芝山町	13.11%
千葉市若葉区	14.67%	香取市	13.09%
千葉市稲毛区	14.63%	鴨川市	13.04%
君津市	14.58%	八街市	12.99%
木更津市	14.57%	長生郡長南町	12.95%
千葉市花見川区	14.48%	安房郡鋸南町	12.77%
柏市	14.47%	長生郡長柄町	12.76%
我孫子市	14.45%	いすみ市	12.74%
松戸市	14.44%	山武郡横芝光町	12.74%
船橋市	14.39%	夷隅郡大多喜町	12.57%
印旛郡酒々井町	14.36%	長生郡長生村	12.43%
成田市	14.19%	夷隅郡御宿町	12.41%
山武郡九十九里町	14.16%	香取郡多古町	12.32%
野田市	14.14%	銚子市	12.05%
印西市	14.08%	旭市	11.81%
大網白里市	14.02%	勝浦市	11.79%
東金市	13.96%	匝瑳市	11.39%
八千代市	13.90%	長生郡一宮町	11.34%
香取郡神崎町	13.84%	香取郡東庄町	9.23%
富里市	13.79%	千葉県平均値	14.29%

5-4. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（国保） 2次医療圏

- 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（国保）について、2次医療圏別に見ると、東葛南部医療圏と千葉医療圏、市原医療圏が高く、香取海匝医療圏が最も低い。



5-4. 同一月内に複数種類の薬剤を処方された患者数割合（国保） 千葉・東葛南部・東葛北部／印旛・香取海匝

- 千葉・東葛南部・東葛北部では市川市、浦安市、流山市が高くなっており、市川市は千葉県内の最高値となっている。
- 香取海匝は全体的に割合が低くなっており、香取郡東庄町は千葉県内の最低値となっている。

